

「立ち上がる農山漁村」選定案概要書

取組分野：【交流】

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 1. 都道府県、市町村 | 静岡県松崎町 ^{まつざきちょう} |
| 2. 事業者名 | 石部地区 ^{いしぶ} 棚田保全推進委員会 |
| 3. 取組みの名称 | 棚田復元によるグリーンツーリズムの展開 |
| 4. 取組概要等 | |

概要

松崎町は伊豆半島南西部に位置し、三方を天城山稜に囲まれ、西に駿河湾を臨む人口9,000人の町である。町の中心部から5 kmほど南下した場所に石部地区の集落が広がり、この石部地区に枚数で千枚、面積10haと静岡県内でも1、2の規模を持つ棚田が存在している。

平成11年には県の「棚田等10選」にも選定されたこの棚田は、高齢化や過疎化等により、耕作放棄が進み荒れ放題となっていた。

地域の棚田を復元し、地域の活力を取り戻す目的で、地区の有志により「石部地区棚田保全推進委員会」を発足し、棚田の保全活動を行っている「しずおか棚田クラブ」との合同による棚田保全活動が平成12年から始まった。

棚田地区の草刈りや、石垣の補修等が行われ、同年5月には両団体合同による田植えを実施、十数年ぶりに棚田がよみがえった。活動を通して、地域住民も棚田を貴重な地域資源としてあらためて見直し、棚田の保全活動に対する理解と積極的な協力が得られるようになった。

現在では、「棚田オーナー制度」も導入されるなど、この活動が引き金となり、地区住民、町、県等が一体となった地域活性化事業が実施されるようになり、農業、加工業、観光業、文化活動、都市農村交流などの展開により、町全体が「まるごとグリーンツーリズム」の拠点として活力を取り戻しつつあり、棚田保全の気運もより高まっている。

活動の規模

項目	H14	H15	H16	H17	H18
生産量	4,000	5,000	6,000	5,500	6,200
解説	単位：kg				
売り上げ	400,000	700,000	550,000	500,000	1,070,000
解説	単位：円 会員発送後余剰米販売				
イベント参加者	500	500	580	550	550
解説	単位：人 田植え、稲刈り				

活用している地域資源

棚田、農村景観

地域活性化のポイント

平成14年度、オーナー・トラスト会員制度導入以降、会員数を増やしてきており、リピーター率も5割を超え、年々顔見知りが増えている。

田植えには、2日間で述べ700人余の交流があり、民宿も全館満室となるなど地域に潤いを与えている。

代掻き、畦付、草刈り体験や生育状況を見るために棚田を訪ねるオーナーはもちろん、地域のイベントへの参加者、海水浴客も増え、交流の輪が着実に広がっている。

復田していく過程で環境の変化も起き、たくさんの生物がよみがえり、ホタル、カワナも共生し、飛び交うホタルも年々増加し、素晴らしい環境空間を演出している。

事業の今後の展開方向

石部地区では、半農・半漁・半観と様々な関わりの中で生活が営まれているが、棚田保全事業を通じて、異業種の相互理解のもとに一次から三次産業が潤える地域作りをめざしている。

また、案山子コンテストやホタルウォッチングツアー、観月会、昆虫の森・昆虫狩り体験、正月飾り作り・つる籠作り、味噌づくり体験など、棚田エリアを活用した地域の活性化を目指した事業展開も検討している。

